

## 編 集 後 記

( 65巻 第1号 2019年1月 )

本庶佑先生のノーベル賞授賞式が行われた京大教授就任以降 20年来のお付き合いをさせていただいている私としても誇らしく、うれしい。ノーベル賞の賞金は、若手研究者の育成を目的とした「本庶佑有志基金」設立の原資にすると聞いている。

ノーベル賞と言えば、2002年にストックホルムで開催された国際泌尿器科学会(SIU)を思い出す。宮崎のK教授(当時講師)、兵庫のM教授(当時講師)と家内も連れて参加した市庁舎で利根川先生が受賞された時と同じノーベルディナーなるものを頂いたが、メインのウサギ料理が私達の口にはまったく合わなかつたことを鮮明に覚えている。今年のノーベルディナーのメインは何だったのだろう。本庶先生に聞いてみよう。

( 小川 修 )